

## 獣医学部 小論文出題例

入試年度	獣医学科
2018	<p>問 次の文章は新聞に掲載された、ペットの飼育に関する記事のひとつです。この記事を読み、設問に答えなさい。</p> <p>東京某所の動物病院の院長は、子どものころからとにかく動物が大好きだった。現在は、爬虫(はちゅう)類や両生類、タランチュラ、アリクイ……と、珍しい生き物の治療も引き受ける「珍獣ドクター」として有名になった。しかし、彼には「ペットを飼うのは、所有したい、手なづけたいという人間のエゴイスティックな欲の現れにすぎない」との思いもある。中学生になってイグアナを飼い始めたのは、ただ「怪獣みたいでカッコいいのが欲しい」という一心からだった、と振り返る。</p> <p>「動物は口をきかないので、人間の勝手な感情を投影しやすい。だが、動物は人といて本当に幸せなのだろうか。動物と生きることの『業(ごう)』に、人がどこまで気づけているのか、と思う」 (2012年1月15日付け 朝日新聞より一部修正して引用)</p> <p>設問 この記事の中では、以下の二つの問題提起がなされています：①ペットを飼うということ自体が人間のエゴの現れに過ぎないのではないか、②ペットは飼われていて本当に幸せなのか。この①と②の両方に対して、あなたの考えを800字以内で述べなさい。</p>
2017	<p>次の文章は新聞に掲載された、ペットの殺処分に関する記事のひとつです。この記事を読み、設問に答えなさい。</p> <p>江戸に詰めていたある藩主に上京の命が下った。出発の日、愛犬がお供をすと言って聞かない。引き離そうにも近習にかみつき、「とりあえず品川まで」となった。犬は品川で再び暴れ、ついに京までお供したという。</p> <p>人の都合で旅のお供になり、留守番にもなる。中には命の期限を定められたペットもいる。飼い主募集のウェブサイトで秒針の音を聞きながら引き取り手を待つ犬猫は多い。「期限まであと〇日」の表示は、命の残り時間だろうか。</p> <p>東京都知事選で「殺処分ゼロ」を掲げたのが当選した新都知事だった。支援者らと手を結び、2020年東京五輪までに「人とペットの共生」のモデルを世界に示すという。その取り組みのひとつとして、飼い主のいない猫の里親を探すイベント「猫の譲渡会」が近く千代田区役所で開催される。生後3か月～10歳程度までの猫が対象となる予定。いずれの猫もワクチン接種や去勢、不妊手術などが済んでいるという。 (2016年8月27, 28日付け 産経新聞より一部修正して引用)</p> <p>問 現在、捨て犬や捨て猫の増加が大きな社会問題となっています。行き場の無くなった動物たちが、殺処分されるという悲しい事象を減らしていくため、環境省も平成25年から、「人と動物が幸せに暮らす社会の実現プロジェクト」を立ち上げ、様々な活動を行ってきました。この中には、飼主や国民の意識の向上、動物の引取り数の削減、動物の返還と適正な譲渡の推進、などが含まれており、動物の殺処分の減少につながっていくことが期待されています。このような東京都や環境省の試みを踏まえて、捨て犬や捨て猫の殺処分を減らしていくには、どのような活動が有効であるかについて、あなたの考える具体例およびその論拠を800字以内で述べなさい。</p>
2016	<p>問 次の文章を読んで、「特定外来生物の駆除」についてのあなたの考えを書きなさい。(800字以内)</p> <p>アライグマは北米原産の雑食動物で、愛嬌のある風貌をもつことから、日本にはペットとして輸入された。しかし、成獣の気性が荒く、飼い主が飼育を放棄し放獣したため野生化した。国内では天敵がいらないため急激に増加し、全国各地で日本在来の生態系や農作物へ被害を与えている。平成17年に特定外来生物に指定されて捕獲・駆除の対象になり、最近の国内における年間駆除頭数は2万頭をゆうに超える。今春、あるアライグマの幼獣が一般市民に捕獲された。このアライグマは公共機関の捕獲動物保存用の冷凍庫に入れられて殺処分された。</p>
2015	<p>問 以下の文章を読み、「牛乳有害説」に対するあなたの意見を800字以内で述べなさい。</p> <p>牛乳がウシの赤ちゃんの食べ物であることには、疑いの余地がない。しかし、だからといって「それをヒトが食べてはいけない」という理屈は通らない。この理屈、「牛乳はウシの食べ物だから、ヒトが食べてはいけない」、が正しいとすると、「ではいったいヒトの食べ物ってなんだろう？」という疑問にぶつかる。この理屈を突き詰めると、ヒトの食べ物はたった一つしかないことになる。そう、母乳である。ヒトは母乳しか食べられなくなるではないか。※牛乳有害説：牛乳を飲むと人体に悪影響があるとする説 (佐藤達夫著 食べモノの道理「じゃこめてい」出版)より)</p>
2014	<p>問 次の文を読み、あなたが思う命とは何かについて書きなさい。(800字以内)</p> <p>脳死状態に陥った幼子は、あたくも眠っているように見えるという。頬に触れば、体温のぬくもりが感じられる。脳死という死の現実を受け入れてなお、親御さんにとっては言葉に尽くせぬ心の葛藤があったに違いない。“決断”に至るまでには、どれだけの涙が流れただろう。</p> <p>息子を亡くした深い悲しみのなかで、どこかの、見ず知らずの、命の瀬戸際にある幼子に生きて欲しいと、臓器提供を申し出たご両親の気高い心に胸を打たれる。「息子が誰かのからだの一部となって、長く生きてくれるのでは……このようなことを成し遂げる息子を誇りに思っています」と、コメントがあった。 (読売新聞 2012年6月16日 「朝刊一面コラム」より抜粋)</p>

### 動物応用科学科の小論文出題例について

- 動物応用科学科では、全ての試験区分において小論文試験を実施していないため、出題例の掲載はありません。

## 生命・環境科学部 小論文出題例

入試年度	臨床検査技術学科
2018	問 チーム医療の一員として臨床検査技師が果たす役割について、あなたの考えを述べよ。(800字以内)
2017	問 日進月歩の医学界において臨床検査技師に求められている資質についてあなたの考えを述べなさい。さらに、あなたはどのようにやってその資質を養っていくか、努力の仕方を述べなさい。(800字以内)
2016	問 将来、あなたはどのような臨床検査技師になりたいと考えていますか？ また、そのためには、どのような努力をしますか？(800字以内)
2015	問 近年、臨床検査技師に求められている資質についてあなたの考えを述べなさい。また、その資質を養うためにあなたはどのような努力をしているのかを述べなさい。(800字以内)
2014	問 次の文は臨床検査技師への講演の内容である。この文章を読んであなたの臨床検査技師に対する考えを800字以内で述べなさい。 諸君はまさしく、今日の医療と保健のための検査技術者である。もちろん検査の技術そのものは、自然科学—とくに化学、生物と物理を主体とするものであって、その方法は自然科学法則によって貫かれている。それ故に、諸君がその法則を謙虚に学び、その仕事に習熟し経験を積み、さらにまた多くの文献を読み、新しい知識の獲得とともに新しい方法の開拓まで、不断の努力をその専門分野になすべきである。いわばプロ意識に徹しての技術の習得が必要である。これが技術者の任務である。だが、今日の技術者はそのような専門にとどまらず、大きく社会性をもった知識と視野の人になる必要がある。まず忘れてならぬことは、この検査技術の対象が人である、その人が社会生活の中で何よりも健康を欲していることである。そしてその健康を守るために諸君らの技術が役立っているという事実をしっかりと認める必要がある。 (若月俊一「農村医療にかけた30年」より)

入試年度	食品生命科学科
2018	問 「医食同源」の考え方を説明し、「生活習慣病」との関連についてあなたの考えを述べなさい。(800字以内)
2017	問 食の安全と食の健康に関する専門家を目指す上で、「麻布大学食品生命科学科で学びたいこと」と「自分の将来」との関連についてあなたの考えを述べなさい。(800字以内)
2016	問 市場で流通している加工食品は、国産品と、外国産の商品が混在しているが、一般消費者の国産品依存度は高い。どうしてだと思うか？ 自分の考えを含め、意見を述べなさい。(800字以内)
2015	問 “食”による健康志向が高まっているが、大切なことは、それらの食品を自分で選択できる判断力を持つことである。そのために私たちは何をすべきか？あなたの考えを述べなさい。(800字以内)
2014	問 近年、食品に関する産地偽装、原材料偽装、消費・賞味期限偽装などの事件は、後を絶たない社会問題となっているが、その問題点と対策について、あなたの考えを述べなさい。(800字以内)

入試年度	環境科学科																																																										
2018	<p>問 次の表は国連ミレニアム開発目標の成果の一部と、国連児童基金のデータをまとめて作成したものです。この表のデータを利用して、以下の項目について、項番号を記してから、記述しなさい。(800字以内)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>データから読み取れる情報を説明しなさい。</li> <li>あなたが特に問題と考える点を説明しなさい。</li> <li>下痢症による5歳未満の子供の死亡数を減らすために有効と考える対策を提案しなさい。</li> </ol> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">地域</th> <th colspan="2">安全な飲料水へのアクセスが可能な人口割合(%)</th> <th colspan="2">衛生施設(トイレ)の人口普及率(%)</th> <th rowspan="2">下痢症により死亡する5歳未満の子供の数(1000出生当たりの数)(2015年)</th> </tr> <tr> <th>1990年</th> <th>2015年</th> <th>1990年</th> <th>2015年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アンゴラ(アフリカ)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">23.83</td> </tr> <tr> <td>都市部</td> <td>52</td> <td>75</td> <td>65</td> <td>89</td> </tr> <tr> <td>農村部全体</td> <td>44</td> <td>28</td> <td>8</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>中国(東アジア)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">0.30</td> </tr> <tr> <td>都市部</td> <td>97</td> <td>98</td> <td>68</td> <td>87</td> </tr> <tr> <td>農村部全体</td> <td>56</td> <td>93</td> <td>40</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>(参考)日本</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="3">0.05</td> </tr> <tr> <td>都市部</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>農村部全体</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：Progress on sanitation and drinking water – 2015 update and MDG assessment および <a href="https://data.unicef.org/wp-content/uploads/2015/12/CoD_Diarrhoea_Dec-2015_WHO_MCEE_234.xlsx">https://data.unicef.org/wp-content/uploads/2015/12/CoD_Diarrhoea_Dec-2015_WHO_MCEE_234.xlsx</a></p>	地域	安全な飲料水へのアクセスが可能な人口割合(%)		衛生施設(トイレ)の人口普及率(%)		下痢症により死亡する5歳未満の子供の数(1000出生当たりの数)(2015年)	1990年	2015年	1990年	2015年	アンゴラ(アフリカ)					23.83	都市部	52	75	65	89	農村部全体	44	28	8	22	中国(東アジア)					0.30	都市部	97	98	68	87	農村部全体	56	93	40	64	(参考)日本					0.05	都市部	100	100	100	100	農村部全体	100	100	100	100
地域	安全な飲料水へのアクセスが可能な人口割合(%)		衛生施設(トイレ)の人口普及率(%)		下痢症により死亡する5歳未満の子供の数(1000出生当たりの数)(2015年)																																																						
	1990年	2015年	1990年	2015年																																																							
アンゴラ(アフリカ)					23.83																																																						
都市部	52	75	65	89																																																							
農村部全体	44	28	8	22																																																							
中国(東アジア)					0.30																																																						
都市部	97	98	68	87																																																							
農村部全体	56	93	40	64																																																							
(参考)日本					0.05																																																						
都市部	100	100	100	100																																																							
農村部全体	100	100	100	100																																																							
2017	<p>問 次の図は、環境モニターアンケート「水辺環境について」の結果を抜き出したものです。身近な水辺の環境の善し悪しについて、この図から読み取れることを説明しなさい。そして我が国の環境問題の歴史を考えながら、この結果の理由を記述しなさい。(800字以内)</p> <p>(環境モニターアンケート「水辺環境について」<a href="http://www.env.go.jp/press/files/jp/9372.pdf">http://www.env.go.jp/press/files/jp/9372.pdf</a>)</p>																																																										
2016	問 大気、水、土壌のいずれかに関する、身近なあるいは地球規模で問題になっている環境問題の実例を一つ挙げ、その原因と環境に対する影響を科学的要素も含めて説明しなさい。また、その問題の解決に向けてどのような取り組みを行う必要があるか、あなたの考えを述べなさい。(800字以内)																																																										
2015	問 最近、問題になった環境汚染の実例を挙げ、なぜ、そのような汚染が起こったのか、また、生態系や人にどのような影響を与えたか(あるいは与える可能性があるか)を述べなさい。(800字以内)																																																										
2014	問 「環境へのやさしい配慮」について、身近な話題があればそれらを含めて、あなたの考えを述べよ。(800字以内)																																																										